



ネットワーク 通信 No.12



2021年度 研修会(Zoomによるオンライン開催)のご報告



がん罹患者への寄り添い方とは ～体験者が語るうれしかったかわり、つらかったかわり～



- *開催日時 …11月6日(土) 14:00～15:30
- *参加者 …36名(ネットワーク加入団体関係者・医療関係者・ピアサポーター研修受講者・看護学校生)



* 一般社団法人がんチャレンジャー代表理事であり、がん罹患者に関わる方専門の産業カウンセラー、両立支援コーディネーター等の資格をお持ちの講師をお招きしての研修会がZoomによるオンライン形式で開催されました。

* がん体験者(2017年12月、38歳のとき中咽頭がん告知)である花木さん。ご自身が「がんチャレンジャー」となり、その実体験からのお話とともに、「寄り添い方」に関するアンケート(がん罹患経験者対象)結果から「嬉しかった関わり」と「辛かった関わり」について具体的な事例もお伺いすることが出来ました。

* 最後のまとめとしてお話しいただいた「**り患者主体の関わり**」(受け止めることが出発点)「**傾聴**」「**共感**」「**適度な距離感**」「**普段通り**」、というキーワードと「**察すること**」の意味合いを、初心に戻り、再度ここに書き留めておきたいと思いました。 ※著書:「寄り添い方」ハンドブック・「青臭さのすすめ(未来の息子たちへの贈り物)」等



花木 裕介氏

【参加者からの感想】 ※ アンケート回答者28名(回答率 77.7%) ※ 頂いた感想の一部記載

- とても分かりやすい講演でした。具体的な事例を挙げながらだったので、テーマをより身近に感じることができました。最後の質問コーナーで取り上げた、「察することが大切なのは健康者に対する姿勢と同じように考える」「つかず離れず寄り添う形」というあたりがグッときました。「がん患者」というフィルターを通して接することが、意識的に当たり前前のように感じていた気がして、人として接することの大切さに改めて気づかされました。ありがとうございました。
- 患者側からの目線でお話していただき、医療従事者としては身の引き締まる思いで聞かせて頂きました。しぐさや言葉使いひとつで患者さんへプラスの働きになったり、逆にマイナスになることがあることを改めて痛感させられました。
- 実際に体験された方のお話はとても参考になりました。ピアサポートの必要性を改めて感じ、活動の場がもっと確立されればと思いました。



～お知らせ～



* ピアサポーター養成研修会 開催中 *

今年度はZoom開催での研修会となりました。8名の体験者の方々がそれぞれ下記の内容で受講されております。

- 基礎編1回目: 12/4(土)※終了致しました。
- 基礎編2回目: 1/29(土)
- 応用編: 6月に開催予定です。

* 事務局より *

昨年は交流会や研修会等が開催出来ず残念な一年になってしまいましたが、今年度、Zoom開催での研修会が実現できました。自宅に居ながら県外等の講師のお話が聞けるというメリットもZoomならではのようです。苦手な方、機会がありましたら是非、トライしてみてくださいね。

